

## 2010年度(平成22年度)活動報告

## I. セミナー

テーマ	講師(所属機関)	司会	期日	主催者	共催者
Prohibition and the Making of Modern America	Lisa McGirr (Harvard University)	古矢 旬	2010.5.17	CPAS	基盤研究(A)「現代アメリカ・ナショナリズムの複合的編制をめぐる学際的研究」、アメリカ学会
Dorothea Lange and Visual Democracy	Linda Gordon (New York University)	古矢 旬	2010.6.8	CPAS	基盤研究(A)「現代アメリカ・ナショナリズムの複合的編制をめぐる学際的研究」、アメリカ学会、東京大学教養学部国際ジャーナリズム寄附講座
What Blood Won't Tell: A History of Race on Trial in America	Ariela Gross (University of Southern California)	矢口祐人	2010.6.11	CPAS	アメリカ学会
Multicultural Broadcasting and Australian Citizenship—the Case of the Special Broadcasting Service	Gay Hawkins (The University of New South Wales / CPAS客員教授)	古矢 旬	2010.6.22	CPAS	
Women as Actors and Subjects in Religion: Protestant America, 1650-1850	David D. Hall (Harvard University)	遠藤泰生	2010.9.15	CPAS	基盤研究(A)「公共文化の胎動」
The American Revolution in Atlantic—and Global—Perspective	David Armitage (Harvard University)	遠藤泰生	2010.11.7	CPAS、アメリカ学会	基盤研究(A)「公共文化の胎動」
Science as Public Culture: the Case of Benjamin Franklin	Joyce Chaplin (Harvard University)	遠藤泰生	2010.11.7	CPAS、アメリカ学会	基盤研究(A)「公共文化の胎動」
Atlantic Antislavery and Pacific Navigation	Joyce Chaplin (Harvard University)	遠藤泰生	2010.11.8	CPAS、アメリカ学会	基盤研究(A)「公共文化の胎動」
Civil War: A Conceptual Genealogy	David Armitage (Harvard University)	橋川健竜	2010.11.15	CPAS、アメリカ学会	基盤研究(A)「公共文化の胎動」
Toleration, Pluralism, the Church and the State: the Origins of Religious Liberty in Eighteenth-Century British America	Ned Landsman (State University of New York, Stony Brook)	橋川健竜	2010.11.29	CPAS、アメリカ学会	基盤研究(A)「公共文化の胎動」
Learning to Look: Using New Media for Understanding the Visual Culture of the United States	David Jaffee (Bard Graduate Center)	遠藤泰生	2010.12.3	CPAS、アメリカ学会	基盤研究(A)「公共文化の胎動」
Philadelphia as 'the Edinburgh of America': the Character and Sources of the American Enlightenment	Ned Landsman (State University of New York, Stony Brook)	遠藤泰生	2010.12.4	CPAS、アメリカ学会	基盤研究(A)「公共文化の胎動」
New York as Cultural Capital, 1830-1880	David Jaffee (Bard Graduate Center)	遠藤泰生	2010.12.4	CPAS、アメリカ学会	基盤研究(A)「公共文化の胎動」
Cultural Survival and Decolonisation: A Postcolonial Investigation of Australian Cosmopolitanism	Baden Offord (Southern Cross University / CPAS客員教授)	古矢 旬	2011.1.14	CPAS	
The Nation and Obama: America's Third Reconstruction?	Gary Gerstle (Vanderbilt University)	古矢 旬	2011.3.9	基盤研究(A)「現代アメリカ・ナショナリズムの複合的編制をめぐる学際的研究」、CPAS	基盤研究(A)「公共文化の胎動」、アメリカ学会
Radical Democracy and Monied Influence on American Politics: A Historical Perspective	Gary Gerstle (Vanderbilt University)	古矢 旬	2011.3.11	基盤研究(A)「現代アメリカ・ナショナリズムの複合的編制をめぐる学際的研究」、CPAS	基盤研究(A)「公共文化の胎動」、アメリカ学会、アメリカ政治研究会

## II. シンポジウム等

- ・若き学究へ——海外留学のすすめ

日時：2010年10月22日（金）16時半～18時

場所：東京大学駒場キャンパス

18号館4階コラボレーションルーム1

開会の辞：古矢旬

（グローバル地域研究機構長）

司会：高田康成

（東京大学大学院教授）

基調講演1：Caroline Yang

（日米教育委員会（フルブライト委員会）元事務局長）

基調講演2：Robert Dujarric

（Director, Institute of Contemporary Asian Studies, Temple University, Japan Campus）

主催：東京大学大学院総合文化研究科附属グローバル地域研究機構

共催：東京大学教養学部短期交換留学制度

- ・シンポジウム「歴史と和解——歴史教育の現在」

日時：2010年11月13日（土）13時半～17時

場所：東京大学駒場キャンパス18号館1階ホール

開会の挨拶：山影進

（東京大学大学院総合文化研究科長）

司会：石田勇治

（東京大学大学院教授）

報告：柴宜弘

（東京大学名誉教授）

「歴史教育による和解の試み——バルカン諸国の場合」

近藤孝弘

（名古屋大学大学院教授）

「歴史対話の内と外——ドイツの経験から」

矢口祐人

（東京大学大学院准教授）

「真珠湾の歴史・記憶・教育」

南相九

（東北亜歴史財団研究員）

「日本軍『慰安婦』の記憶と日韓の歴史教科書」

討議者：楊大慶

（ジョージ・ワシントン大学准教授）

シドニー・パッシュ

（東京大学フルブライト招聘講師）

総括：三谷博

(東京大学大学院教授)

閉会の挨拶：古矢旬

(グローバル地域研究機構長)

主催：東京大学大学院総合文化研究科附属グローバル地域研究機構

共催：日本学術振興会科学研究費補助金

基盤研究 (A) 「現代アメリカ・ナショナリズムの複合的編制をめぐる学際的研究」

基盤研究 (A) 「公共文化の胎動」

東京大学大学院地域文化研究専攻

財団法人アメリカ研究振興会

### III. 研究プロジェクト

- ・日本学術振興会科学研究費補助金・基盤研究 (A) 「現代アメリカ・ナショナリズムの複合的編制をめぐる学際的研究」(代表：古矢旬)
- ・基盤研究 (A) 「公共文化の胎動：建国後の合衆国における植民地社会諸規範の継承と断絶に関する研究」(代表：遠藤泰生)

### IV. 出版活動

- ・『CPAS Newsletter』 Vol.11, No. 1 (2010年9月)、No. 2 (2011年3月)
- ・『アメリカ太平洋研究』 第11号 (2011年3月)

### V. センター所属教員の2010年1月から12月までの研究活動

古矢旬

[その他の執筆]

- ・「『日本型』地域研究とその発信——東京大学大学院総合文化研究科アメリカ太平洋地域研究センターの場合」『地域研究コンソーシアム・ニューズレター (特集：地域研究の国際化)』 No. 8、2010年3月、14-19頁。
- ・「茶会旋風・原点回帰求める『右翼パネ』」『朝日新聞』、2010年10月30日。
- ・「現代アメリカ外交の展開」『世界史のしおり』(帝国書院、2010年10月)、1-3頁。

[口頭報告]

- ・パネリスト 「オバマ大統領の政治哲学」第3回ヘボン=渋沢記念講座シンポジウム「オバマ大統領の政治理念を分析する」、東京大学、2010年7月29日。
- ・報告 「国際安全保障——アメリカの見方」国際シンポジウム「世界危機後のロシアと日本」、モスクワ国際関係大学、2010年9月7日。
- ・コメント 同時代史学会シンポジウム「転形期——1968年以後」、成城大学、2010年12月4日。

## 遠藤泰生

## [その他の執筆]

- ・報告 「地域文化研究専攻第17回公開シンポジウム『地域文化研究の現場から』」『教養学部報』第527号、6頁。
- ・書評 「民主主義とキリスト教——アメリカ合衆国における自由：ジョン・ウィッテ著、大木英夫・高橋義文監訳『自由と家族の法的基礎』（聖学院大学出版会、2008年）」『本のひろば』第627号、22-23頁。
- ・書評 「南北アメリカ『音楽誌』への期待：石橋純編『中南米の音楽——歌・踊り・祝宴を生きる人々』（東京堂出版、2010年）」『教養学部報』第530号、3頁。
- ・コラム 「マシュー・モーリーとマシュー・ペリー：アメリカと太平洋」川島真編『岩波講座 東アジア近現代通史』（岩波書店、2010年）、60-61頁。

## [学会活動等]

- ・司会 地域文化研究専攻第18回公開シンポジウム「移民・ホスト社会・人権：Immigrants, Host Societies, Human Rights」、東京大学、2010年10月30日。
- ・講演 「大西洋から太平洋に——アメリカ研究の文脈をひらく」名古屋アメリカ研究夏期セミナー第3回ワークショップ「グローバル化とアメリカ研究の行方」、南山大学、2010年12月19日。

## 高橋直樹

## [その他の執筆]

- ・序文 [編著] 高橋直樹・岡部恭宜編『構造と主体』東京大学社会科学研究所シリーズ No.35（東京大学社会科学研究所、2010年3月）、1-4頁。

## 橋川健竜

## [学会活動等]

- ・世話人 アメリカ学会第44回年次大会「初期アメリカ研究」分科会、大阪大学、2010年6月6日。
- ・編集委員 アメリカ学会英文ジャーナル *The Japanese Journal of American Studies* 編集委員会。
- ・編集副代表 日本アメリカ史学会『アメリカ史研究』編集委員会（1～9月）、同代表（9～12月）。

## 福島啓之（4月から12月まで）

## [その他の執筆]

- ・書評 多湖淳著「武力行使の政治学——単独と多角をめぐる国際政治とアメリカ国内政治」『国際安全保障』第38巻第2号、2010年9月、109-113頁。